

令和7年度 第7回 旭地域会議 会議録

■日 時 令和7年10月2日（木） 午後7時00分～午後8時20分

■場 所 旭支所2階 第1会議室

■出席者

＜委員10名＞

板倉小夜子（会長）、稲垣雅子（副会長）、伊藤圭一、大塚昌義、鈴木雄也、
富永英明、成瀬初恵、増田尚子、柳井清一郎、渡邊さとみ

＜事務局＞

杉本憲彦（支所長）、児嶋勇吾（副支所長）、岡本拓也（担当長）、山本悟（主査）、
平井一輝（主事）

■欠席者

＜委員3名＞

安藤孝之、伊藤和夫、鳥居信宏

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

（1）「商業」に関する提言に向けた協議のまとめ

（2）後期まちづくり計画、後期集落ビジョンの中間報告

4 連絡事項

5 支所長あいさつ

6 閉会

【内容】（要約）

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

（１）「商業」に関する提言に向けた協議のまとめ

前回の会議での協議のまとめを、資料１に基づき事務局が説明。

〈主な意見〉

- ・過去に実施されたプレミアム商品券は地域の活性化につながった。今後もあると良い。
- ・旭マルシェはどのような経緯で始まったものか？

→コロナ禍でイベントがなくなって、出店できるところがなくなった。そのようなときに、旭観光協会が、地域の商店が身近に出店できる場所としてマルシェが始まったと聞いている。

- ・マルシェをやっているお客さんがあまり来ないのは、駐車場の問題がある。マルシェ会場から駐車場が遠い。

〈今後の進め方について〉

- ・これまで話し合ってきたテーマについて、すべてを捉えて提言したほうがよい。

→せっかくこれまで話し合ってきたので、３テーマとも提言するのがよい。

⇒あれこれやるよりも、実現できそうなテーマに絞った方がよい。

- ・他の地区では複数の提言をしているところはある。
- ・次回の地域会議では、３つのテーマについて整理する。

（２）後期まちづくり計画、後期集落ビジョンの中間報告

資料２に基づき事務局が報告。

〈主な意見〉

- ・「2025 年にめざす状態の指標」は、アンケート調査や市民意識調査で数字が低くなっているにも関わらず、改めて高い目標を定めるのは、難しいのではないかと。
- ・課題は多いかもしれないが、新規事業は増えていると思った。
- ・住民に調査したアンケート結果はすべて載せてほしい。さまざまな意見の中で、共感できる意見があることもある。
- ・アンケートの中で、同じような意見がたくさん出ているということが重要で、それだけ地域の声が多いということの表れだと思う。

〈その他〉

- ・まちづくり計画を作りっぱなしではなく、次世代につないでいきたいと思っている。旭中学校の生徒に説明する機会を設けようと思うが、どうか？

→賛成。良いことだと思う。中学生にとって意義あるものにしてほしい。

4 連絡事項

（１）次期地域会議委員の公募について

（２）しきしまの家のイベント「坂道ギャラリー」について

5 支所長あいさつ

6 閉会

— 午後８時２０分 令和７年度 第７回 旭地域会議終了 —